



地区名

長野市(大岡地区)

(1) 地区が抱える課題等

人口減少や高齢化の進行により、住民活動に必要な生活サービスの確保が将来的に困難になることが懸念される。小さな拠点的形成することにより生活サービスを維持するため、地域住民と関係機関の役割を明確化し、運営体制や方法について調査を行った。

(2) 地区が抱える課題に対する検討状況

○実施体制

大岡地区住民、大岡地区住民自治協議会、長野市(各部局)、大岡支所が相互に連携し、小さな拠点づくりに取り組む。

○検討内容

- ・地区の現況把握(現在の公共施設、公共交通等の機能の確認)
- ・アンケート調査(地区の課題やニーズの整理)
- ・現在の地域活動について確認
- ・追加調査や今後の地域活動について検討

○関係団体との連携・調整状況

- ・大岡地区住民自治協議会及び大岡支所と調整し、10地区において小さな拠点づくりに関する住民説明会を実施(平成28年9月)
- ・高校生以上の地区住民を対象にアンケート調査を実施(平成28年10月)
- ・住民自治協議会理事会において、アンケート調査結果を報告(平成29年2月)
- ・既存の体制を維持し、引き続き連携していくことを確認

○今後のスケジュール等

平成29年度以降 追加調査・ワークショップ等の実施を予定

(3) 検討を踏まえた具体的な事業内容

○本委託事業で実施した連携事業の概要・効果について

- ・地区内の10地区において説明会を開催し、小さな拠点づくり事業の主旨を説明することができた。住民自治協議会と合同開催することにより、地域の困りごとや魅力について直接住民の声を聞く良い機会となった。
- ・アンケート調査は、地区住民のほぼ全数に近い規模で調査を行うことができた。世帯ではなく個人を対象としたことで、各世代から回答が得られ、それぞれが抱える地区の課題やニーズを抽出することができた。
- ・地区役員への聞き取りやアンケート結果から、役員の負担が大きいとの意見があった。運営体制については、住民自治協議会の中で各団体に枝分かれしており、現在の体制で十分対応できているため、既存の組織が連携して対応していくことを確認した。
- ・現在においても、地域住民が主体となった活動が積極的に行われているため、それらの活動を維持できるように支援していく必要がある。
- ・地区からは、地域住民が互いに生活を支えあう仕組みを作りたいという話が出ているため、取組に対する支援や拡大ができるか検討を行っていく。

(4) 今後の課題

- ・話し合いやワークショップを通じて、地区の魅力や課題に住民自身が気づいてもらい、今後の活動につなげていくことが必要
- ・将来にわたり地域コミュニティが維持されるよう、公共施設や公共交通の見直しを含めて検討が必要